

特定非営利活動法人 国際社会人剣道九州クラブ会報

INTERNATIONAL GOODWILL KENDO CLUB



剣志

KEN SHI

2026年128号（令和8年1月）

発行者 九州地区クラブ

会 長 野口 慎一郎

幹 事 長 池永 祐一郎

HP <http://www.npo-igkc.or.jp>

「雖有天下易生之物也，一日暴之，十日寒之，未有能生者也。」～孟子～

（天下に最も生きやすい植物があっても、1日光に当て、10日当てなければ、成長できるはずがない。継続が大切。）

【謹賀新年 新春：九州地区初例会】 久留米ランテック道場にて



新春、令和8年を迎え一月の久留米は快晴、暖かく過ごしやすい稽古始めの月例会でした。

今年度最後になる第11回剣道研究会はほとんどの会員の皆様が初めて見る「短剣道」がテーマでした。そして、稽古のあとは皆様待望の新年会で大盛り上がりでした。

今年も幸先の良いスタートが切れましたが、10月には当地区主管の全国例会・国際親善大会が熊本で開催されます。企業協賛金のお願い回りからさっそくスタートです、皆さん、ご協力よろしくお願いいたします！

●第11回剣道研究会:テーマは「短剣道」:13時～14時

剣道家にとってほとんど未知なる世界の「短剣道」について、大変有意義な研究会でした。

講師に、自衛隊の佐賀県銃剣道連盟 事務局長の河合大地教士七段、佐賀県立佐賀農業高等学校教諭 江原高志錬士六段のお二人をお招きしての特別研究会でした。



（部外講師のお二人）



（実技前の座学風景）



(珍しい短剣道形の演武。 8本あります。)



(剣道と同じ防具を着けての基本技実演)

(実際の地稽古の実演。左小手はつけません。)

まずはフランス軍の流れを汲む歴史説明から始まり、短剣道の特徴説明。剣道と大きく異なる点は、制体があること。右手のみ。声は「エイ、ヤー、トー」のみ。短剣竹刀の規定は62cm、重量は250g以上無制限(剣道小太刀は上限あり)。九段まで存在している。などの講義のあと会員の皆様方からの活発な質疑応答があり、さらに形と実技の実演であつという間の1時間でした。

江原先生は剣道も教士七段ということもあり、剣道自由稽古にも参加くださいました。

お二人の先生方、大変貴重な講習会をありがとうございました。

なお、講義内容、演武内容につきましてはYouTube動画公開の許可を頂きましたので後日案内させていただきます。

●自由稽古 (14時15分～14時55分)

全員準備体操後に、自由稽古です。今回は、短剣道の江原先生も参加されにぎやかな自由稽古になりました。



時間に制約のある回り稽古では得られない指導を頂けるので貴重な稽古時間です。

●礼式:新参加者の紹介。(15時00分～)

礼式のご挨拶は野口会長から、
「今年は熊本大会があります。皆さん方にご無理を申し上げることもあろうかと思いますがぜひご協力
よろしくお願いいたします。そして、優勝目指し頑張りましょう！」



(野口会長ご挨拶)



(新入会者とお試し参加の方々)



◎新入会者:先月から参加の北村祐見先生(五段:女性)(福岡久留米)、
玉木智和錬士六段段(熊本:二刀)の先生方、正式ご入会です。

◎お試し体験者:・・・村上先生(熊本県庁)は八代南高校剣道部で野口会長の教え子さんです。
入会予定です。



(剣道具を文化財登録推進中の秋野先生と、武道功労賞を受賞された弘友先生)

秋野先生は、日本刀に加え竹刀も文化財登録にできないかと政府と交渉中です。

応援しましょう！

弘友先生は、武道功労賞を受賞されました。おめでとうございます！

●基本指導稽古 (15時10分～15時30分)

【基本稽古】 小島良守八段が講師で約20分間実施:今回は面を着けずに基本指導です。

右足の効用についての指導です。右足を少し出すだけで間が詰まる。攻め足でもあり誘い足でもある。

① 右足出しながら竹刀の表で摺り上げて面打ち(石火のうち)

② イメージトレーニング。打つ前の一仕事をする。打つべき好機を打つ。

そして、稽古することです。

一曝十寒(いちばくじゅっかん) ……一日やって、十日サボっては身につかない。絶え間なく継続することが大切。

明日の百より今日の十。努力に勝る天才無し。99%は汗の結晶です



(小島八段による基本指導稽古風景)



(尾方範士による全体講評)

【全員での回り稽古】基本稽古後、八段参加の3分回り稽古を約30分、2分を4回実施して終了。3分5人ごとに休憩兼ねて、井上八段と井手八段から2, 3分のワンポイントアドバイスをいただきます。最後は八段審査一次、二次を想定しての2分4回の回り稽古をしました。各自、途中休憩も可能ですのでご自身の体調に注意をされながら稽古をお願いします。

【出席者名:45名】(順不同)(当地区八段の先生6名、新入会者その他1名含む)

尾方正照範士 野口慎一郎範士 小島良守先生 井上誠一先生 井手勝彦先生 池永祐一郎先生
大塚勝也 青沼一博 秋野公造 秋山勝年 井上由賀 宇佐輝彦 打越亨 江島健志 緒方栄一 小川邦昭
片山拓 加野質典 神田真奈美 **北村祐見** 税田健司 財前宜宏 佐藤博喜 末廣和祥 武田耕次
田島幸信 田中義勝 **玉木智和** 豊田末雄 永岡義規 西田耕陽 西見秀俊 林重雄 日高久光 廣瀬智之
弘友和夫 真喜屋治 溝口勝正 諸富博幸 矢野健太郎 山本義信 若林忠雄 若松清孝 渡辺勝彦
村上徹(お試し参加:近日入会予定)

【尾方正照範士の講評挨拶】

「皆さんの今日の稽古の初太刀は何でしたか。一年の計を立て、三磨の位の習工錬でやっていきます。小島先生の基本稽古で左足のため、左足を動かさないことが大切です。剣道の出発点は左足、左手、左腰です。なぜ打たれるか、攻めて乗って打て、拳攻め鰐元まで攻めるといふ事。相手が動かないという事は自分の気迫不足。気迫が足りないものが負ける。そんなに簡単には打てない。面を打とうとするとところを打つ。物見でしっかりと見る事。そして長期丹田呼吸が大切です。

3分間の回り稽古は質を大切にすること。雑になってやってはいけない。一つ一つを大切にこなし、出来そうになれば休む。消化試合をしてはいけない。

野球の大谷選手がなぜ活躍できているか。彼の人間性、謙虚さ、武道精神に学ぶことです。」

～全ての例会終了は、16時40分

●【恒例の新年会の開催】例会後にそのまま久留米市内で新年会です。

普段皆さん車なのでなかなか懇親会ができませんが、年二回、この新年会と合宿の二回、懇親会を皆さん楽しみにしています。そのせいでしょうか。大変盛り上がります。二次会、三次会まで大変です！



●【定期役員会開催のお知らせ】来月の例会2月14日(土)前に開催します。

日時：令和8年2月14日(土) 11:00開始~13:00終了予定。14時から自由稽古です。

場所：宮ノ陣グリーンセンター2F会議室(ランチミーティングとなります)

*内容は、恒例の事業計画予実績審議と熊本大会の諸事項審議となりますので少し時間が長くなります。

●【九州地区夏合宿】来年度は沖縄合宿です！ 6月20, 21日です。

早めに、各自で、航空券、ホテルの予約をお願いいたします。

*基本的に事務局としての宿泊交通関連の取りまとめはしていませんが、一部の会員の厚意によりホテル予約フォローをさせていただいております。下記QRコード、URLからどうぞ！

<https://docs.google.com/forms/d/e/1FAIpQLSdeyfonkylxoljknkdFkViNw9sACp7qOx9XvaJ035wM57YJw/viewform?usp=dialog>

◎日時：2026年6月20日(土)~21日(日)

(*日程は例年と同じ13時ごろから翌11時ごろまでです。)

◎稽古会場：那覇市奥武山町の沖縄県立武道館第二錬成道場

◎宴会会場：那覇市泉崎町界限

現地会員として真喜屋治先生が合宿全般サポートしてくださっております。



【幹事連絡先】

幹事長：池永祐一郎

yuichi.kng@gmail.com

事務局長：宇佐輝彦

usa_teruhiko@msn.com

会計：永岡義規

nagaoka1978@outlook.jp

以上